

一般質問通告書（平成30年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	梅田 徳男	<p>1. 人口減少への対応について</p> <p>2. 発災時の的確な避難対策について</p> <p>3. 市税徴収率の向上について</p>	<p>人口の減少は、将来の白杵市の存続にかかわる大きな課題の一つである。 住みやすく魅力があり、生活のしやすい住環境の整備と人口の減少要因に対する具体策等の確かな推進に加え、市民の方々に積極的に協力いただくことが必須である。 特に、若い世代への対策に関して、足下の取り組みやその成果、今後の課題等をお聞かせいただきたい。</p> <p>(1) 中・高生や大学生、結婚を考える若い世代のそれぞれが「住む」ための条件などをどのように考えており、そのニーズに対して白杵市としてどのように対処しようとしているのか。その内容と成果、今後の対応策をお伺いしたい。 また、就職や結婚を機に市外に出ていく若者が多いが、市の方から学校や職場、地域等に出向いて、人口減少の実態や白杵市の取り組みなどを説明したり、新たに白杵市に住む場合の支援情報などを提供することも必要かと考えるが、市のお考えをお伺いしたい。</p> <p>(2) 住宅地の確保という面から、市有地あるいは郊外の安価な荒廃地を購入して宅地を造成し、自宅を新築しようとする方々に安価で提供又は貸与することも、定住人口増加の一策と考えるが、市のお考えをお伺いしたい。</p> <p>(3) 結婚に対する意識の低い若者が多く、白杵市でも結婚をお世話する、いわゆる婚活事業を進めているが、その推進状況と目標や課題などをお伺いしたい。 また、本年度、婚活委託事業者を選定されておられるが、その選定基準についてお伺いしたい。</p> <p>(1) 平成30年7月豪雨では200人を超す犠牲者が出ている。想定を超えた雨量と避難に対する住民の認識と行動の不一致などが被害を大きくしている。 西日本豪雨の惨状を踏まえ、特に避難対策に関する最善の方法を再度、整理・検討いただき、各地区の今後の防災訓練等に活かし、市民の生命・財産への被害を最小限に止めていただきたいと考えるが、市のお考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>(1) 先般、2017年度の県内18市町村の市町村税徴収率の速報値が公表されたが、白杵市の徴収率は、県平均の97.2%に対し93.2%に止まっている。 2016年度に対して0.6ポイント改善してはいるが、徴収率が低迷している要因と100%徴収に向けて、今後の取り組みについてお伺いしたい。</p>		
2	戸匹 映二	<p>1. 平成30年7月豪雨から見た災害課題について</p> <p>2. 認知症高齢者等の介護をしている家族への支援について</p> <p>3. 地域共生社会実現に向けての地域力強化の推進と包括的支援体制の構築について</p>	<p>(1) 避難への課題について</p> <p>① 警報や特別警報の意味について、再度、市民への理解と周知に取り組む必要があると考えるが如何か。</p> <p>② コミュニティタイムラインの取り組みの推進を行っていただきたいが如何か。</p> <p>(2) 被災後の課題について</p> <p>① 行方不明者の氏名公表について、公表・非公表の選択をどうするのかを伺う。</p> <p>② 膨大な量が想定される「災害ごみ」の処理計画はどのようになっているかを伺う。</p> <p>(1) 白杵市の認知症の現状について</p> <p>① 認知症罹患患者数の現状と今後の推移をどのように認識しているかを伺う。</p> <p>(2) 認知症高齢者等の家族の支援について</p> <p>① 認知症高齢者等を家族で介護する人が集う「ケアラズカフェ」の取り組みの推進をしては如何か。</p> <p>(1) 地域力強化推進事業と多機関の協働による包括的支援体制構築事業について</p> <p>① 各種の相談に対してワンストップで相談を受けられる包括的相談窓口を設置しては如何か。</p> <p>② 各分野の相談支援機関を総合的にコーディネートするコミュニティソーシャルワーカーなどによる「相談支援包括化推進員」を配置し、包括的・総合的な相談体制を構築しては如何か。</p>		

一般質問通告書（平成30年9月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
3	広田 精治	1. 本市における障害者の雇用状況について	(1) 現在、雇用している障害者数、雇用率を示してください。 (2) 障害者としてのカウントは障害者手帳、又は医師の診断書による正確なものかどうかもお答えください。		
		2. 住宅リフォーム助成制度について	(1) 本市における事業所数とそこで働く従業者数は年々減少。平成21年、28年の比較で、事業所数は建設業で22%減、商業で15%減。従業者数でそれぞれ26%減、15%減となっています。地元経済を元気にする地域循環型の政策が必要だと思います。多くの自治体で実施、経済効果の大きい住宅リフォーム助成制度の創設が必要ではないか。		
		3. 市工事等の発注先について	(1) 平成28年度、29年度における市発注工事等の発注先を市内業者、市外業者に分けて件数、金額を明らかにしてください。 (2) 本市外業者に発注する場合、その理由は。		
		4. 津波、高波等による緊急時の避難について	(1) 避難が必要となる沿岸集落の避難場所はすべて定まっていますか。 (2) 避難場所までの道路整備は出来ていますか。		
4	川辺 隆	1. 小中学校のブロック塀について	平成30年6月議会一般質問の答弁における、その後の対応について伺います。 (1) 小中学校の施設のブロック塀の調査結果と対応。		
		2. 小中学校のエアコンについて	(1) 小中学校のエアコンの設置状況と設置計画について教えてください。		
		3. 小中学校の給食費について	(1) 給食費の納入状況を教えてください。 (2) 給食費の徴収方法を教えてください。		
		4. 市内の豪雨時の浸水箇所について	(1) 豪雨時の降水量に対して浸水する地区はどの位ありますか。 (2) 浸水対策として、市の計画はありますか。		

一般質問通告書（平成30年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
		1. 「有機の里うすき」について	<p>平成24年3月議会、市長は次のように述べています。 「うすき夢堆肥を使った有機無農薬の野菜をまず子供たちの給食にして、将来50%まで伸ばして子供たちの食と健康ということをやっていききたい。次には市民の皆さんに提供をしたい。そして白杵に来るお客さんにそれぞれのお店が出していただくというか、白杵にはこういう野菜が有機無農薬でできますよとブランド化して、有機農業に取り組む人たちを増やし、自立する農家になってもらいたい。」と。</p> <p>(1) 現在「有機の里うすき」を掲げた取り組みを行っています。が、市長の言う「有機」及び「有機農業」、「有機無農薬」とは「有機JAS認証」を指すという理解でよろしいでしょうか？</p> <p>(2) これまで「有機JAS認証」を受けた事業者の数の推移を教えてください。また、白杵市の独自認証「ほんまもん農産物『金』」認証を受けた事業者の数の推移も併せて教えてください。</p> <p>(3) 「有機JAS認証」と「ほんまもん農産物『金』」との違いはどこにありますか？</p> <p>(4) 「ほんまもん農産物『金』」の事業者が「有機JAS認証」に取り組むための課題と支援策についてどのようにお考えですか？</p>		
5	若林 純一	2. 「観光大使」について	<p>平成26年7月「白杵市観光大使設置要綱」が定められ、市の知名度向上と観光産業の発展を図るため、白杵市観光大使を設置することができるようになりました。</p> <p>(1) 「観光大使」を設置するに至った経緯について教えてください。</p> <p>(2) 白杵市観光大使として何名が委嘱されていますか？</p> <p>(3) 今後この制度をどのように活用していくおつもりですか？</p>		
		3. 「白杵庁舎の方針」について	<p>市長が平成30年6月議会の冒頭に示した白杵庁舎の抜本的対策の方針についてお尋ねします。</p> <p>(1) 津波被災時の災害対策本部は、消防署と市浜地区コミュニティセンターとされていますが、災害直後の緊急対応が落ち着いた後の復旧・復興業務や通常業務はどこで行われるのでしょうか？ また、窓口業務は野津庁舎において行えるよう検討するとされていますが、白杵地域におけるサービス窓口はどこに設けるのでしょうか？</p> <p>(2) 現庁舎に市役所の「中心的機能」を残しつつ、旧白杵商業高校校舎の普通教室棟に建設課や上下水道事業所の移転を検討するとされています。普通教室棟は耐震改修済みですが、学校と市庁舎では求められる耐震性能に違いがあるとされ、再度耐震改修を行う必要があると思われそうですが如何でしょうか？ また、普通教室棟が利用可能となれば、現位置に「中心的機能」を最小限残し、他の組織を移転することも防災上有用と思われそうですが如何お考えでしょうか？</p> <p>(3) 避難タワーを兼ねた立体駐車場を建設するとのことですが、その上層階に市庁舎を併せて建設すれば、ライフライン担当部局を旧白杵商業高校校舎に分散移転することなく、安全で効率的な執務環境を整えることも可能と思われるがいかにお考えでしょうか？</p>		

一般質問通告書（平成30年9月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
6	河野 巧	1. 上水道について	<p>白杵市でも給水人口が減少するなか、どの地域に住んでいても水道を維持し、公平を保つことが望まれています。しかし、現状は市が管理運営する白杵市水道事業と公設民営の簡易水道や民設民営の水道など様々です。厚生労働省では、簡易水道事業の統合を条件に国庫補助対象事業の期限を、事業によっては平成31年度までとすることを示しています。早急な水道事業の統合が白杵市でも必要だと考えます。</p> <p>(1) 白杵市水道事業及び簡易水道事業の現状について (2) その他（山水等）地域における水道の現状について (3) 今後の取り組みについて</p>		
		2. 乙見ダム整備について	<p>想定外の雨量による災害が全国的にも多数発生しています。特に昨年9月に発生した台風18号の影響による災害は乙見ダムの下流に位置する地域で甚大な被害となりました。早急に減災に向けた取り組みが必要だと考えます。</p> <p>(1) 昨年度の乙見ダム放流による被害状況について (2) 乙見ダムの現状について ① 建設時に想定されていた雨量と現在の雨量の差異は ② 昨年からの乙見ダム操作規定に対する県との進捗状況は (3) 今後の取り組みについて</p>		
		3. 市役所機能について	<p>平成30年6月定例会内で白杵庁舎に関する市長方針が説明されました。現在、野津庁舎については一部庁舎の改築が行われる予定ですが、今後は人口減少や過疎化が予想される中、市役所機能（課）の分散による行政コストの増大が危惧されます。市役所機能（課）は集約し、窓口業務のみの支所の充実が効果的だと考えます。</p> <p>(1) 白杵庁舎と野津庁舎の役割をどう考えますか (2) 白杵庁舎と野津庁舎以外の出先機関はどのようなものがありますか (3) 連絡事務所やコミュニティセンターの活用について今後どのように考えますか (4) 白杵市の庁舎のあり方に対する市長方針についての市民説明会を行う考えはありますか</p>		
7	匹田 久美子	1. 児童の健康と健全育成について	<p>(1) 小学校のエアコンの設置について 旧来とは異なる猛暑が続いたことを受けて教室のエアコン設備が必須であると思われるが、白杵市内の小学校におけるエアコン設置についてどのような計画となっているか。</p>		
		2. 「学校現場における働き方改革」について	<p>(1) 「労働時間の正確な把握」について 2018年度から大分県内の県立高校に勤務時間を管理するためのICカードが導入された。白杵市では、現在どのようなやり方で教職員の労働時間を把握しているのか。 (2) 業務の軽減について 超過した業務量を適切に調整するため、具体的にどのような取り組みをしているのか。 それによって、今年度はどの程度まで業務が軽減できているのか。 (3) 「スクールサポートスタッフの導入」について 現在、白杵小学校と野津小学校のみに配置されているが配置後の成果について確認できているか。 今後増員の見通しはあるか。</p>		
8	内藤 康弘	1. 白杵市農業の現況について	<p>(1) 白杵市全体の農業粗生産額について ① 販売額が一億円を超える商品は品目別にどれくらいありますか。 (2) 就農状況について ① ファーマーズスクールやアグリ起業学校の現況等について (3) ほんまもん農産物の現況について ① 土づくりセンターの稼働状況等について ② 今後の展望と課題について</p>		
9	伊藤 淳	1. 地域包括ケアシステムの深化・推進について	<p>(1) 生活支援コーディネーターによる地域の支え合いの仕組みづくりの進捗状況と今後について (2) 生活支援サービスの体制整備にかかる関係各課の連携について (3) 白杵市Z会議と地域ケア会議における地域課題の抽出と政策形成について</p>		